

- 問1 近畿地方の産業について述べた次の文章のうち、空欄にあてはまる最も適切な語句を選択肢から選びなさい。「奈良県南部に位置する紀伊山地では、多雨な気候や急峻な地形を活かした林業が古くから盛んである。この地域で産出される木材は、建築資材などに用いられる高品質な（ ）として全国的に知られている。」（2021年 福島県公立入試 類似）
1. 屋久すぎ 2. 木曽ひのき 3. 吉野すぎ 4. 秋田すぎ
-
- 問2 温州みかんの生産量が全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している 2. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している 3. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している 4. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している
-
- 問3 神戸市の地形図や土地利用図において、内陸部の開発地域と沿岸部の開発地域には密接な関係が見られます。この開発手法の説明として正しい組み合わせはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 内陸部：扇状地を開発して果樹園を造成／沿岸部：堤防を築いて海を干拓 2. 内陸部：盆地を整備して工業団地を建設／沿岸部：リアス海岸を利用して港湾を整備 3. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設／沿岸部：堤防を築いて海を干拓 4. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設／沿岸部：削った土砂で海をうめ立て
-
- 問4 「環境こだわり農業」に関する統計資料において、2001年にはほぼ0haであった栽培面積が、2009年には約12,000ha近くまで急増している要因として、最もふさわしい説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 海外からの安い農産物に対抗するため、化学肥料を大量投入して収穫量を最大化する方針に転換したため。 2. 琵琶湖の水質保全を目的として、農薬・化学肥料の削減や農業排水の管理を徹底する農家が増えたため。 3. 農業従事者の高齢化に伴い、排水の管理や農薬の散布などの手間を省く農法が普及したため。 4. 工業用水の需要が高まったことで、農業排水をすべて工業用に再利用するシステムが完成したため。
-
- 問5 製造品出荷額の構成において、石油・石炭製品や化学工業、鉄鋼業といった重化学工業が上位を占めている県があります。臨海部を中心にこれらの大規模な工場が発達している、近畿地方に属する県はどこですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 和歌山県 2. 静岡県 3. 滋賀県 4. 長野県
-
- 問6 兵庫県明石市を通る経線は、日本の時刻の基準として定められています。この経線は次のうちどれですか。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 東経130度 2. 東経140度 3. 西経135度 4. 東経135度
-
- 問7 近畿地方の南部に位置する和歌山県を中心とした紀伊山地一帯には、古くから信仰の対象とされてきた霊場と、そこへ通じる参詣道が残されています。この地域が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録された際、その中心となった歴史的な山道の名称として正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 瀬戸大橋 2. さくらんぼの栽培園 3. 霧島ジオパーク 4. 熊野古道
-
- 問8 近畿地方には国宝や重要文化財の指定件数が多く、宿泊客数や宿泊施設数も多い府県が複数存在します。こうした観光資源が豊富な地域において、情報通信業が地域の産業に果たしている役割と背景について述べたものとして適切なものを選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. インターネットを活用して観光地の情報を世界に発信したり、予約システムや多言語案内を充実させたりすることで、サービス業の利便性を高めている。 2. 宿泊施設を建設する際に、建設業と協力して伝統的な木造建築を最新の鉄筋コンクリート造に建て替えるための技術提供が主な役割となっている。 3. 観光客向けの特産品を増産するために、農業に従事する人々をすべて情報通信技術者に転換させ、食料生産を自動化することを目指している。 4. 観光地の景観を維持するため、林業の専門家と連携して山林の伐採や植林をデジタル技術で完全に代行することが主な目的となっている。
-
- 問9 2016年に開催された「伊勢志摩サミット」の開催地である都道府県について、その地理的な特徴や関連する出来事として最も適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 中部地方と近畿地方の両方の結びつきが強く、リアス海岸が発達した志摩半島で真珠の養殖が盛んである。 2. 明治時代に茶の輸出で発展した清水港を持ち、富士山の麓に広がる牧之原台地での茶の栽培が有名である。 3. 中京工業地帯の中心地として知られ、自動車産業の集積地であるとともに、日本で最も人口が多い県の一つである。 4. 日本最大の半島である紀伊半島の南側に位置し、黒潮の影響で温暖なため、みかんなどの果樹栽培が非常に盛んである。
-
- 問10 日本の人口移動と地域課題について述べた会話文において、人口が集中している東京、大阪、名古屋などの都市部と、人口減少が著しい地方農村部の対比が議論されています。このように、特定の都市に人口や機能が過度に集中することで発生する課題として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 農村部での耕作放棄地が減少し、食料自給率が向上する 2. 都市部での地価が急激に下落し、広い住宅の確保が容易になる 3. 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する 4. 地方自治体の税収が増加し、公共交通機関の維持が容易になる
-
- 問11 近畿地方のうち、三重県や和歌山県南部などの太平洋に面した地域で見られる気候の特徴とその要因について、正しい説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 夏季は北西からの季節風を山地が遮るため降水量が少なく、冬季は暖流の影響で湿った雪が降る日が多い。 2. 冬季はシベリア高気圧から吹き出す湿った季節風の影響で雪が多くなり、夏季はフェーン現象により乾燥する。 3. 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。 4. 一年を通じて季節風の影響を受けにくいため降水量の変化が小さく、常に温暖で湿潤な気候が続く。
-
- 問12 近畿地方の都府県に関する統計において、人口が約556万人、工業製品出荷額が約14兆円という高い水準にあり、大阪府に次いで工業が盛んな県はどこですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
1. 京都府 2. 三重県 3. 兵庫県 4. 滋賀県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 吉野すぎ	奈良県吉野地方は、日本を代表する造林地の一つです。紀伊山地の豊かな自然環境のもとで、密植（木を密集させて植えること）などの伝統的な技術により、年輪が細かく強度の高いスギが生産されています。長野県の本谷ひのきや、秋田県の秋田すぎと並んで日本三大美林の一つに数えられることもあります。
問2	答え 3 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している	みかんは温暖な気候を好み、特に成長期に十分な太陽光を浴びることと、根腐れを防ぐために水はけが良いことが栽培の条件となります。和歌山県や愛媛県では、海岸に近い山の斜面を階段状に切り拓いた段々畑にすることで、効率よく日光を当て、余分な水分が自然に流れ落ちるように工夫されています。
問3	答え 4 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設／沿岸部：削った土砂で海をうめ立て	神戸市の都市開発は「山、海へ行く」とも称され、山を削った土を海へ運ぶことで、内陸の住宅不足の解消と沿岸部の用地不足の解消を同時に行いました。内陸部では「西神ニュータウン」などが建設され、沿岸部ではその土砂で埋め立てが行われました。干拓は土砂を使わずに水を排出して土地を作る方法なので、このケースには当てはまりません。
問4	答え 2 琵琶湖の水質保全を目的として、農業・化学肥料の削減や農業排水の管理を徹底する農家が増えたため。	環境こだわり農業の栽培面積が2000年代を通じて右肩上がりに増加したのは、持続可能な農業に対する社会的関心が高まったことや、琵琶湖の環境を守るという地域特有の課題に対する意識が農家の間で浸透したことが背景にあります。この農法では、農業や肥料の使用を抑えるだけでなく、湖への負荷を減らすための厳格な排水管理が求められますが、それらが「環境こだわり農産物」としてのブランド価値にもつながり、普及を後押ししました。
問5	答え 1 和歌山県	近畿地方の和歌山県は、阪神工業地帯から続く沿岸部に大規模な製鉄所や石油コンビナートが建設されたことで、重化学工業が発展しました。統計上も石油製品や鉄鋼の割合が非常に高いことが大きな特徴です。これに対し、静岡県は輸送用機械、長野県は電子部品や精密機械、滋賀県は電気機械や化学工業が盛んですが、和歌山県ほど石油・鉄鋼に特化した構成ではありません。
問6	答え 4 東経135度	日本では兵庫県明石市を通る東経135度の経線を標準時子午線（標準時を決めるための子午線）と定めています。この経線上の時刻が日本全国の共通時刻として使われており、イギリスのグリニッジ天文台を通る本初子午線から9時間の時差が生じます。
問7	答え 4 熊野古道	和歌山県、三重県、奈良県にまたがる紀伊山地は、険しい山岳環境そのものが信仰の対象となってきました。ここに位置する「熊野古道」は、熊野三山を参拝するために多くの人々が歩いた歴史的な道であり、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。霧島ジオパークは宮崎県と鹿児島県、さくらんぼ栽培は主に山形県、瀬戸大橋は岡山県と香川県を結ぶ施設であり、いずれも和歌山県の特徴には当てはまりません。
問8	答え 1 インターネットを活用して観光地の情報を世界に発信したり、予約システムや多言語案内を充実させたりすることで、サービス業の利便性を高めている。	近畿地方のように歴史的価値の高い観光資源を多く持つ地域では、それらをいかに効率よく伝え、活用するかが経済の鍵となります。情報通信業は、ウェブサイトによるプロモーション、キャッシュレス決済、宿泊予約の最適化などを通じて観光業（サービス業）と密接に連携しています。これにより、地域の伝統的な魅力と現代の利便性が結びつき、第3次産業全体の活性化につながっています。
問9	答え 1 中部地方と近畿地方の両方の結びつきが強く、リアス海岸が発達した志摩半島で真珠の養殖が盛んである。	伊勢志摩サミットが開催された三重県は、伊勢湾に面し、南部には複雑な海岸線を持つリアス海岸の志摩半島が広がっています。この地形を利用した真珠の養殖は世界的に有名です。また、三重県は近畿地方に含まれますが、中京工業地帯の一角をなすなど、愛知県を中心とする中部地方との経済的交流が非常に盛んな点も特徴です。
問10	答え 3 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する	高度経済成長期以降、三大都市圏（東京・大阪・名古屋）には多くの人口が流入しました。これにより、都市部では過密による住宅難や通勤ラッシュ、大気汚染、ゴミ問題などの「過密問題」が発生した一方で、地方では若者の流出により「過疎問題」や「限界集落」の発生が深刻な課題となっています。
問11	答え 3 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。	三重県や和歌山県南部は太平洋側の気候に属しています。日本の夏は太平洋側から吹く湿った季節風の影響を強く受けるため、山地で上昇気流が発生して降水量が多くなります。一方、冬は大陸からの季節風が山脈を越える際に水分を失うため、太平洋側では乾燥した晴天の日が多くなるのが典型的な特徴です。
問12	答え 3 兵庫県	兵庫県は阪神工業地帯や播磨臨海工業地域を擁しており、工業製品出荷額において近畿地方で大阪府に次ぐ規模を誇ります。統計上も約14兆円という高い数値を示しており、重化学工業から地場産業まで幅広く発展しているのが特色です。三重県や滋賀県も工業は盛んですが、人口規模や近畿主要府県としての文脈から兵庫県が正解となります。